

平成六年度

帯広市

文化賞

文化奨励賞

帯広市教育委員会

帯広市文化賞受賞者紹介



石 塚 初 甫
(はつゑ)

(82才)

〈受賞理由〉

氏は、華道教授として、この道一筋に華道愛好者の指導育成に情熱を注ぐとともに旺盛な花展活動を続けられ、その卓越した技芸は斯界より高く評価されております。

また、華道未生会帯広支部を創設し、初代支部長に就任する一方、十勝華道連盟理事長等を歴任し、その間、氏の豊かな人間性から常に指導的立場にあり、多くの有為な人材を育成するなど地域の華道文化の向上発展に大きく寄与しました。

こうした氏の長年にわたる真摯な活動とその功績は地域文化の向上発展に大きく寄与するものであり、帯広市文化賞を贈り顕彰します。

〈略 歴〉

大正 元 年	札幌市に生れる
昭和 21 年～63 年	華道未生会帯広支部長
昭和 30 年～	帯広北高等学校華道部講師
昭和 51 年～56 年	十勝華道連盟理事長
昭和 54 年～58 年	帯広市民劇場運営委員会委員
昭和 57 年～63 年	十勝華道連盟理事、監査役
昭和 60 年～	華道未生会本部常任顧問
昭和 63 年～平成 5 年	総合美術十勝協会副会長
平成 元 年～	華道未生会帯広支部名誉顧問、同教授会会長 十勝華道連盟相談役
	日本いけ花芸術協会特別会員
平成 6 年～	総合美術十勝協会顧問 北海道いけ花連盟理事

帯広市文化賞受賞者紹介



三 浦 弘 之

(63才)

〈受賞理由〉

氏は、帯広畜産大学の教官として、長年にわたる食肉製品の研究・開発を通して多くの有為な人材を地域社会に送り出した功績は斯界より高く評価されております。

また、全国に向けたビーフマニュアルによる食肉流通の道を開くとともに食肉製品の保蔵、品質管理さらには醸酵型食品の開発を行うなど帯広十勝の食文化の向上発展に大きく寄与しました。

こうした氏の長年にわたる真摯な活動とその功績は地域文化の向上発展に大きく寄与するものであり、帯広市文化賞を贈り顕彰します。

〈略 歴〉

- 昭和 6 年 札幌市に生れる
- 昭和 30 年 帯広畜産大学副手
- 昭和 44 年 帯広畜産大学助教授
- 昭和 50 年 帯広畜産大学教授
- 昭和 59 年 帯広畜産大学学生部長
- 昭和 59 年～ 帯広市民生活協同組合理事長
- 昭和 60 年～ 日本食肉研究会評議員
- 平成 3 年～ (社)日本畜産学会理事
- 平成 5 年～ 北海道農業振興審議会委員
北海道畜産学会会長
十勝圏振興機構理事

帯広市文化奨励賞受賞者紹介



坂 田 雅 義

(43才)

〈受賞理由〉

氏は、昭和50年に師魯久窯を開設し、陶芸愛好者の指導と育成を行うとともに陶芸家としても旺盛な創作活動を続けられ、昭和52年には道展新人賞を受賞し、その後も韓国や国内各地のグループ展に出品するなど幅広い活躍をされております。

また、昭和53年には北海道で初めての穴窯を築炉し、その個性豊かな作品は斯界より高い評価を受けております。

こうした氏の長年にわたる真摯な活動とその功績は地域の芸術文化振興に大きく寄与するものであり、今後ますます期待するところが大きいので、帯広市文化奨励賞を贈り顕彰します。

〈略歴〉

- 昭和26年 上士幌町に生れる
- 昭和47年 道立工業試験場修了
- 昭和48年 福井県窯業試験場専科修了
越前焼梅藤哲郎氏に師事
- 昭和53年 北海道初の穴窯築炉
- 昭和60年 イタリア、フェエンツアにて研修
韓国ソウルにてグループ展
- 昭和61年 道立近代美術館イメージ「郡」展招待出品
- 昭和62年 美術表現としてのやきもの出品（札幌NDA画廊）
- 昭和63年 土と炎で語るやきもの出品（さいとうギャラリー）
- 平成3年 幕別町札内駅広場モニュメント制作
- 平成6年 セラミックアートセンターに作品收藏
ギャラリーベルダール（東京）個展
- 現 在 北海道陶芸会会員
平原社美術協会会員